

天文台の行事

申込方法 受付開始日の9:00から科学館HPまたは来館で
※星の教室は空きがあれば当日申込み可



★ 星の教室

「天の川銀河中心の超巨大ブラックホール『いて座A*』
～ほとんどの銀河中心には超巨大ブラックホールが存在～」

●日時／9月21日(日) 14:00～16:00 ●定員／50名(先着) ●参加費／無料
●講師／富樫一憲先生(旭川天文同好会長) ●申込期間／8月22日～9月20日

「冬の星空を楽しもう！」
～寒い冬だからこそ楽しめる、冬の星空の楽しみ方～

●日時／11月30日(日) 14:00～16:00 ●定員／50名(先着)
●講師／伊藤 正光 先生(星のソムリエ認定資格者)
●申込期間／10月31日～11月29日 ●参加費／無料

＊ 天体を見る会 ＊

【秋の星と土星・海王星の観測】

9月27日(土)19:30～21:00 [申込期間] 8月28日～9月17日

【中秋の名月と土星・海王星の観測】

10月6日(月)19:00～20:30 [申込期間] 9月6日～9月26日

【秋の星と土星・天王星・海王星の観測】

10月26日(日)19:00～20:30 [申込期間] 9月26日～10月16日

【秋・冬の星と土星・天王星・海王星の観測】

11月22日(土)19:00～20:30 [申込期間] 10月23日～11月12日

【冬の星と木星・土星・天王星・海王星の観測】

12月21日(日)19:00～20:30 [申込期間] 11月21日～12月11日

[対象] どなたでも(中学生以下は保護者同伴)
[定員] 各回 50名(抽選) [参加料] 無料

※開始から約30分間のプラネタリウム解説があります。
※曇天等で星がみえなくてもプラネタリウムで解説があります。
※テーマを変更する場合があります。

	9月	10月	11月
天文台 スタンプ ラリー			

天文台の望遠鏡で星を観察すると月毎に1回スタンプを押せます。
スタンプが3個そろったら天文台スタッフに声をかけてね。

天文台やプラネタリウムの情報をCHECK!

サイバル天文

@SCIPALgnf65_zmp
X(旧Twitter)



旭川市科学館サイバルの天文台やプラネタリウムに関する
イベント情報、天文現象などをSNSでお伝えします。

開館時間 [9～11月の休館日]

9月1日(月)・8日(月)・16日(火)・29日(月)・30日(火)
10月6日(月)・14日(火)・20日(月)・27日(月)・31日(金)
11月4日(火)・10日(月)・17日(月)・25日(火)・28日(金)
※午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料

科学館		博物館	観覧料(円)				
常設展示室 (1日)	プラネタリウム (1回)	常設展示 (1日)	大人		高校生		中学生 以下 無料
			個人	団体	個人	団体	
●	—	—	410	320	280	210	
—	●	—	330	260	220	170	
●	●	—	520	410	350	280	
●	—	●	530	430	350	280	
—	●	●	470	370	310	240	
●	●	●	760	620	510	400	

☆ プラネタリウムの観覧券はご購入いただいた回のみ有効です。

☆ 団体料金は、同じ料金の方が20名以上の場合に適用となります。

☆ 次に該当する方は、観覧料が免除になります。

(①②)に該当する方は受付にそのことを示す証書の提示をお願いします)

①身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方
と介助者(介助対象者と同人数まで)

②介護保険法に定める要介護者の方と介助者(介助対象者と同人数まで)

③学校の児童生徒等を引率する教員

④団体見学申込書による一般団体引率者の方(1/10の人数まで)

☆次に該当する方は、科学館の観覧料が5割減額となります。

(①)に該当する方は受付にそのことを示す証書の提示をお願いします)

①旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各町在住の満70歳以上の方
②旭川市、鷹栖、東神楽、当麻、比布、愛別、上川、東川、美瑛各町の高校に通学または
在住する高校生20名以上の団体

次のパスポートをお買い求めいただいた方は、
最初に使用した日から1年間対象施設を何度もご覧いただけます。

種 類	対 象 施 設	料 金(円/枚)	
		大人	高校生
科学館パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム	1,040	660
博物館・科学館 パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム、 博物館の常設展示	1,560	1,040
動物園・科学館 パスポート	科学館の常設展示室とプラネタリウム、 旭山動物園	2,230	

上記パスポートは科学館の受付または市内公共施設の売店などでお買い求めいただけます。

「サイバル☆みらい基金」にご協力ください

新たな展示や企画展、特別展の開催などに役立てられる基金です。寄附は、個別
でのお申し込みのほか、館内に設置している募金箱からもご協力いただけます。

[お断り]

掲載している投影・イベント情報については、諸般の事情により中止又は延期となる可能性が
ありますので、予めご了承ください。最新の情報についてはホームページをご覧ください。

旭川市科学館 | 〒078-8391 旭川市宮前1条3丁目3番32号

電話 0166(31)3186(代表) FAX: 0166(31)3310

E-mail kagakukan@city.asahikawa.lg.jp

HP https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/science/index.html

●表紙画像: NGC457 とんぼ星団 ●撮影: サイエンスボランティア旭川 伊藤 正光 氏



サイバル
旭川市科学館



＊ 一般番組[小学校高学年～大人向け] ＊

その日の旭川の星空と天文現象や季節の話題などを投影者が生解説します。

★ 秋の一般番組

【今日の星空と投影者のお好み解説】

※ゴジラ座の紹介は9/23(祝)まで

＊ なかよしタイム / 幼児番組[幼児～小学校低学年向け] ＊

季節の主な星座や星にまつわる物語を中心にお届けする約20分の番組です。幼稚園・保育所等の団体利用でもご利用ください。

9月 【かぐやひめ】

10月 【ほしぞらえいご☆せいざのやかたのハロウィン】

11月～12月25日 【クリスマスのふしぎ】

＊ はじめてのプラネタリウム ＊

【それいけ!アンパンマン～星の色と空の色～】

※日曜日、祝日及び振替休日に投影

＊ 特別投影 ＊

11月23日(日・祝) 13:00～、16:00～ 「プラ寝たリウム」

勤労感謝の日、星空を見ながらゆっくりお休みください。
(星の解説はほとんどありません)

＊ ドームシアター[小学生～大人向け] ＊

8月～9月 銀河鉄道999 赤い星ベテルギウスいのちの輝き

10月～11月 世界遺産 宇宙への祈り

● 9月～11月の投影時間

		午 前		午 後			
		10:00	11:00	13:00	14:00	15:00	16:00
開始時刻	平日・土曜	団体専用	なかよしタイム ※平日のみ変更する場合あり	一般番組	なかよしタイム	ドームシアター	一般番組
	日曜祝日	10:30	11:30				
		なかよしタイム	はじめてのプラネタリウム				

※11時の回は平日(旭川市内の小中学校の夏・冬休み期間を除く)に限り団体予約により番組内容を変更する場合があります。
※特別投影・催事により番組内容・時刻を変更する場合があります。
※団体利用の場合は3日前までにご予約ください。
※定員は170名です。

学習番組・授業について(学校の団体利用のみ)

小学校・中学校の団体見学向けに理科の教科書に沿った内容の番組を投影できますのでお問い合わせください。ご予約については2週間前までにお申し込みください。

	9月	10月	11月
プラネタリウム スタンプ ラリー			

プラネタリウムを見ると月毎にスタンプが押せます
スタンプを3つそろえたらプラネタリウムスタッフに声をかけてね

こよみと天文現象

空にかざして
使ってみよう!

9月

7日 白露(太陽の黄経が165°になる)
8日 満月
皆既月食(食の最大 3時12分)
12日 宇宙の日
14日 下弦
20日 彼岸
21日 主星が衝
22日 新月
23日 秋分(太陽の黄経が180°になる)
30日 上弦

10月

6日 中秋の名月
7日 満月
8日 寒露(太陽の黄経が195°になる)
14日 下弦
21日 新月
23日 霜降(太陽の黄経が210°になる)
30日 上弦
水星が東方最大離角

11月

5日 満月
(本年最近の満月:約35万7000km)
立冬(太陽の黄経が225°になる)
7日 下弦
18日 しし座流星群が極大
20日 新月
22日 小雪(太陽の黄経が240°になる)
24日 主星の環が極めて細く見える
28日 上弦

ほしぞらだより

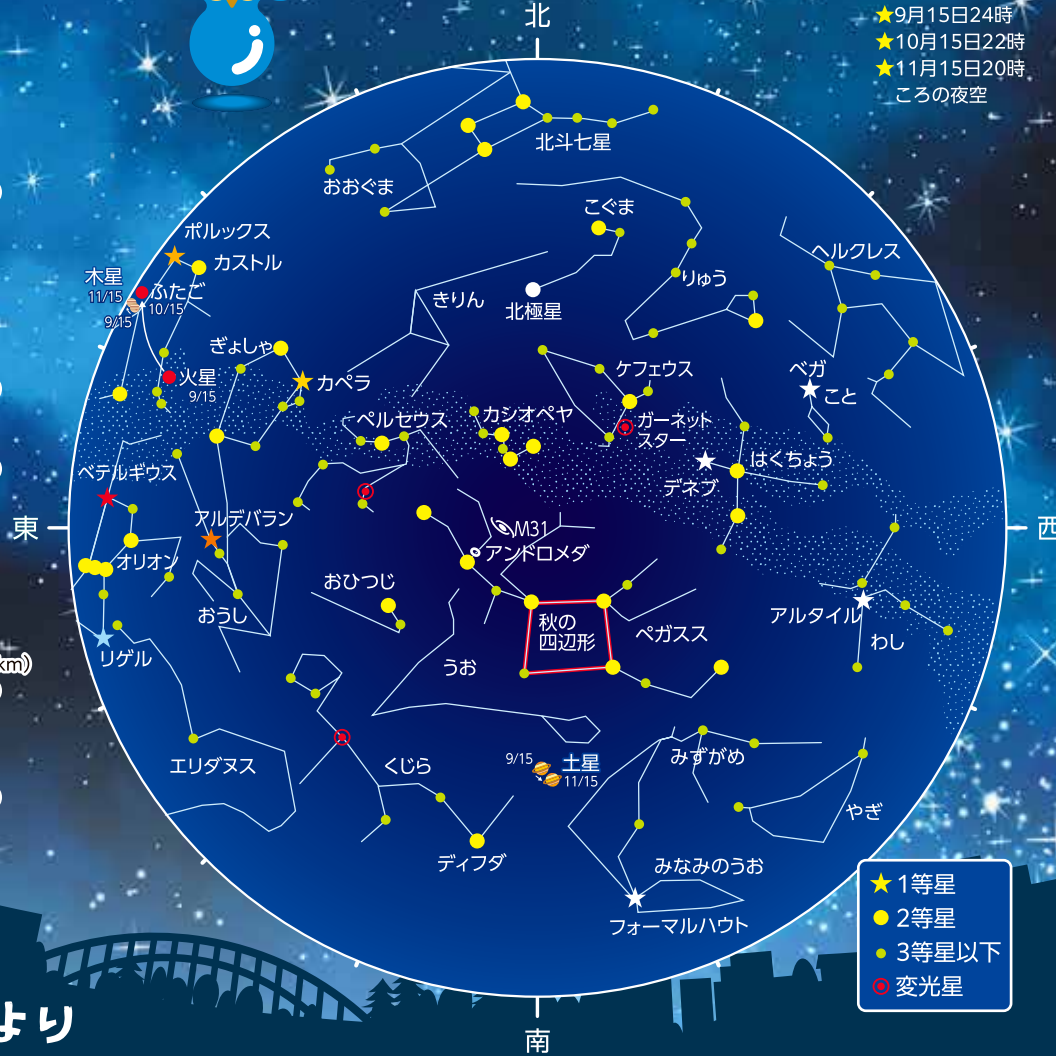
秋の夜空で星座を探す目印になるのは秋の四辺形です。四辺形の西側の星を結んで南の方へ伸ばしていくと、みなみのうお座の1等星フォーマルハウトが見つかります。また、東側の星を結んで南の方へ伸ばしていくと、くじら座の2等星ディフダ(デネブカイトス)が、北の方へ伸ばしていくと、Wの星の並びが特徴的なカシオペア座が見つかります。その隣には古代エチオピアの王であるケフェウス座の姿も。

また、9月8日の皆既月食は食の始まりが午前1時26分頃、食の最大が午前3時11分頃と真夜中から夜明けにかけての月食となります。

今年は夏の終わってから秋にかけて土星が南の空で見やすくなります。土星は明るい天体なので肉眼でも見つけることができ、望遠鏡で観察すると特徴的な環を見ることができる惑星ですが、2025年は地球から見た環の傾きがゼロに近く、極めて細い環になっています。3月と5月の「環の消失」以降で最も細く見えるのは11月24日となります。

秋の夜空

★9月15日24時
★10月15日22時
★11月15日20時
ころの夜空



★ 1等星
● 2等星
● 3等星以下
⊙ 変光星